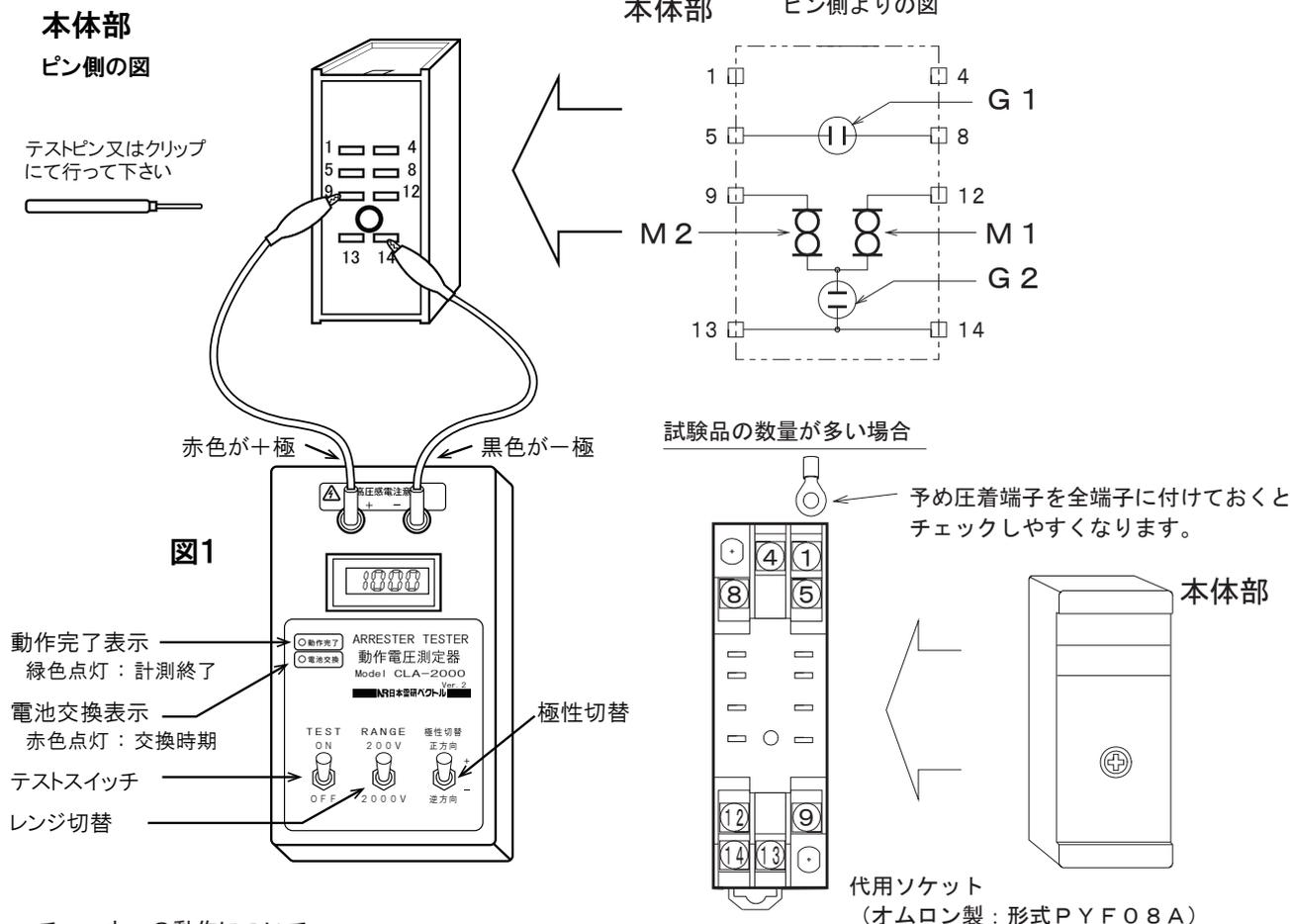


避雷器本体内部素子の点検方法は動作開始電圧（素子に1mAを流したときの電圧）を測定して判断します。

●端子配列と結線図



チェッカーの動作について

チェッカー CLA-2001は、1mA/0.5mAの電流制限つきです。設定モードを超えた時点で、数値をホールドしてサージ吸収素子への電圧印加を停止します。数値表示はTESTスイッチをOFFにするまでおこないます。

モード (MODE) の使い方：サージ吸収素子の負担を避けるためにおこないます。

モリブデン式やギャップ式は0.5mA/酸化亜鉛式やシリコン式は1mAでおこなってください。

不明なときは1mAでおこなってください。

●素子の良否判定方法

- ① 電圧計と絶縁計を使用、図1のように接続します。
- ② 測定する素子 (MやG) の動作電圧に合わせてRANGE (レンジ) を切り換えてください。
- ③ TESTスイッチをONに投入してください。
- ④ 指示値が下表の範囲外の場合は、劣化 (不良) と判定します。

<VMR-TEL避雷器>

各素子	測定端子	端子番号 (無極性)	印加電圧 (レンジ)	電流モード	確認内容
G1	L1-L2間	8-5	DC2000V	0.5mA	210~455V DC 範囲内であること
M1	L1-E間	12-14	DC2000V	0.5mA	1000~1500V DC 範囲内であること
M2	L2-E間	9-14	DC2000V	0.5mA	1000~1500V DC 範囲内であること

●注意事項

- ① 感電にご注意ください。
TESTスイッチONにしているとき、出力の電極を素手で触れないでください。
- ② 新品交換待ちの場合
劣化であっても信号に支障がなければ、新品交換まで付け戻してください。交換までの雷サージ対策となります。